しろね図書館だより

No. 99
発行 新潟市立白根図書館
平成20年8月発行
（毎月第1木曜日発行）

いよいよ夏本番！
もっともアツイ季節、
8月の到来です。
けれども、図書館の中は
いつだってクール！
ヒートアップしがちな
ココロもカラダもちょっとだけ
クールダウンして、
おたがいさわやかに
ご利用くださいますよう。

8月の展示架

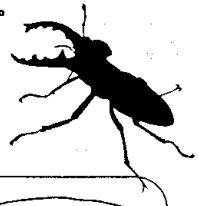
Beijing 2008

いよいよ世界のスポーツの祭典、
北京オリンピックが開幕します。
世界一、最強の座を求めて
スポーツの鉄人たちが北京で激突！
そこで、今月はオリンピックが
もっと楽しくなる本を集めてみました。
ルールを知っていると、
もっとずっと楽しめること間違いナシ！
観戦のおともにおひとついかが。

さわやかでクールなご利用のために

図書館内での飲食はご遠慮ください。
ひと息つきたくなったら、交流広場を
ご利用ください。なお、この季節、ナマモノは
たいへん傷みやすくなっておりますので、
持ち込みはお勧めいたしません。

静かに勉強をしたい中高生のみなさんのために、
2階に学習室をご用意いたしました。
学習館の窓口で申し込みができます。
そのかわり、図書館の中の席は、
なるべく小さいおともだちや、
学生を卒業したひとたちのために
譲ってあげてくださいね。



紅～イビキ～ カッコわるい！！

図書館内でのイビキは、どうか、ご遠慮くださいませ。
静かに読書を楽しんでいるお客さまのご迷惑になるのは
もちろんですが、この季節は、たくさんの子どもさんが
利用します。どうか、よくないオトナの見本と
ならないよう、節度を守ってご利用ください。
なお、意識を失っておられる方には、万が一の場合を考慮し、
お声掛けする場合がございますので、どうぞご容赦ください。

7月の

来館者……	19,570 人
貸出冊数……	16,680 冊
予約件数……	312 件
ブックバス利用者……	567 人
ブックバス貸出冊数……	1,615 冊

予約ランキング

5ヶ月持ち！

ただいま人気の本です。
しばらくお持ちください。

1位 ハリー・ポッターと死の秘宝（20名）
2位 流星の絆（12名）
　　ホームレス中学生（12名）
3位 夢をかなえるゾウ（6名）

8月、子どもたちは夏休みに入り
どんな一日を過ごしているのでしょうか。
夏になると、涼しさを求めて海や川、
プールと、お出かけする機会が増えてきます。
海の美しさ、楽しさは夏の忘れられない
経験になるのかもしれません。
でも、海の中って実は
よく知らないのかもしれません。
こんなにきれいな魚いたんだ！
と驚いたり、魚とは思えないようなすご
い顔をしていたり……魅力いっぱいの
海の中はとっても奥が深いのです。

かくれんぼ

子どもたちといっしょに

それでは、ざぶ～んと潜って
楽しめる絵本を紹介します。
すべて写真なので、なんだか潜って
お魚をのぞいている気分になります。
絵本を開くだけで、こんなにも海が近くに
感じられて、楽しくなれるそんな一冊です。
魚たちがかくれんぼ、
知ってる魚の名前がいくつあるのかな。
とっても楽しい絵本です。

《こどものとも》福音館書店
吉野 雄輔 写真・文

どうぞお子さんと
一緒にお楽しみ
ください。

図書館員なってみたよ！

7月30日（水）

9人のおともだちが、
1日図書館員にチャレンジ！
本の貸出で「ピッ♪」って
やったり、図書館の地図を
片手に本を探したり、
本棚に本を返したりと、
本物顔負けの大活躍！
一日図書館員をやりとげて、
「来年もまたやる！」と
いい笑顔でした。

8月の行事

8月2日（土）
絵本のじかん　14:10～
おはなし会　14:30～

8月9日（土）
おはなしかご例会　10:00～
絵本のじかん　14:10～
おはなし会　14:30～

8月16日（土）
絵本のじかん　14:10～
おはなし会　14:30～

8月17日（日）
読書会（ルーム2）　14:00～

8月18日（月）
あかちゃんがはじめてであうほん

8月23日（土）
おはなしかご例会　10:00～
絵本のじかん　14:10～
こわ～いおはなし大会　14:30～

8月25日（月）
雑誌リサイクル

8月30日（土）
絵本のじかん　14:10～
おはなし会　14:30～

8月のブックバス

学校が夏休みのため、8月はブックバスをお休みします。9月1日から再開します。

真夏の恐怖ふたたび！！

こわ～いおはなし大会

今年も、こわ～いおはなしばかりの、
こわ～いおはなし大会が帰ってきた！

8月23日（土）午後　図書館 おはなしのへやで

†一回目† 2:30～3:00（小さい子むけ）
†二回目† 3:00～3:30（小学生から）
†三回目† 3:30～4:00（小学生から）

それぞれ、先着30名まで。

はじまる5分前までに、おはなしのへやに集合！

第93回読書会

平成20年7月27日（日）　午後2時から

『しゃべれども しゃべれども』

佐藤 多佳子 著　新潮社

◆◆◆　参加者の感想　◆◆◆

❑読みやすかったので二日位で読み終えた。
深く考えずにストーリーの流れに乗って読んだ。
❑一語一句確認しながら読んだので、理解しにくい文章だと感じた。
❑登場人物が、それぞれ強い個性を持っていたので楽しみながら読んだ。
❑落語について初めて知ることが多かった。落語って、すごいと思った。
（人物によって声色を変えないで顔の角度で演じ分ける・ニュキストがなく、師匠から3回聴いて耳から覚える会話であること・高座に上がってから演目を決める等）
❑ストーリーテリング（おはなしを語ること）をしているので、
ジャンルは違うが落語との共通点を感じた。
❑主人公が図書館に行って落語の勉強をする場面があり、うれしかった。
❑映画化されたので登場人物のキャスティングが知りたくなった。
映画も観てみたい。
❑ほうすき市の場面を映像化したらどういうふうになるのか気になった。
❑映像にしたら2秒位で終わってしまうだろうが文章になると、
それなりのシーンになる。やはり「本はいいな」と改めて思った。
❑原作本を読んでから、みんなで映画を鑑賞するのもおもしろそう。
（読書会スペシャル版として）

Next Contents

8月の読書会

8月17日（日）14:00～　ルーム2

日曜午後のひととき、
本の話をしながら、
すてきなティータイムをすごしませんか。
申し込みは いりません。

格差社会の
犠牲者たちを救え
銭と人情の
大江戸プロジェクト X

西條奈加著（光文社）

烏金（からすがね）

烏金――この耳慣れない響きは、
昔の金貸し稼業を示す言葉である。
朝カラスが鳴くころにその日の元手となる金を貸し、
夕方のカラスが鳴くころには返済してもらう。
それが由来だ。
ある日、ごうつくばりの金貸し、お吟おばさんのところに
転がり込んできたちょっとワケあり風の男、浅吉。
金貸し稼業を手伝い始めた浅吉だが、
ただ金を取り立てるだけでなく、
借主の借金整理や、新しい商売の世話を焼いたりして、
周囲の信頼を深めていく。
だが、浅吉には秘密の目的があった……。
痛快人情時代劇。

「読書会」は、みんなで同じ本を読んで、その本のことをあれこれおしゃべりする、午後のお茶会みたいなものです。
毎月紹介している本はカウンターにありますので、まずはどうぞ読んでみてください。
本を借りたからって参加しないといけないわけでもないですから、気軽にどうぞ。
もし本が気に入ったら、読書会もちょっとのぞいてもらえると嬉しいです。

図書館員がおすすめするこの1冊

「白いキリンを追って」

the White giraffe

ローレン・セントジョン　著

さくま ゆみこ　訳

あすなろ書房（Y933 セ）

本書は、暑い日が続きどこかに行きたいと
思っている方におすすめしたい1冊です。
暑いアフリカを舞台にした物語ですが、
良い意味で暑くて、熱い時間を過ごせると思います。
ほんの少し日本から飛び出してアフリカへ。
とはいっても、どんな内容なのか分からないと
手を出しづらいかもしれませんので、
簡単に紹介します。

イギリスで暮らす１１歳の少女に起こる
不思議な出来事。
突然の両親の死，祖母の存在発覚，
アフリカ，鳥獣保護区，
そして何よりも少女マーティーン自身の
知られざる運命。

いろんなことを知らされないままマーティーンは、イギリスから祖母のいるアフリカへと移ってきます。なぜ祖母の存在を聞かされていなかったのか。なぜ祖母はこのような態度をマーティーンにとるのか。マーティーンと一緒に疑問を持ち、今後の展開がどうなるのか、ドキドキします。きっと本を手に取りページをめくる、その時から読者はマーティーンになってしまうのかもしれません。
白いキリンが存在するのかどうかは分かりませんが、
白い色の動物はときどき話題に上って知っている種類もあります。
その白いキリンの伝説が大きく関わりながら物語は進んでいきます。
何よりもアフリカの神秘的なものに動かされているようにも感じられ、
鳥獣保護区での動物たちや，アフリカの大地からのエネルギーが少しずつ
吹き込まれてくるように、マーティーンはその才能を目覚めさせます。
後半は、思いもしない結末まであっという間。
すべてが解き明かされる時にはこれまでの気持ちがすっきりとして
いい気分になり、おもしろかった！！　という読後感です。
物語のおもしろさだけでなく、
何かを託されたように心にふわりと残る一冊です。
どこか遠くへ……と思ったら
こんな１冊に出会ってみるのもいいかもしれません。

［司書　大野恵子］